しょしかんてつ
初志貫徹

「過猶不及（かゆうふきゅう）」【論語】は、「やり過ぎることは足りないことと同じ」という意味です。人生のすべてのことにおいて、欲張ること、無理をし過ぎることを戒め、中庸（ちゅうよう）の徳「（過不足なく偏らない」の大切なことを教えています。

学校教育目標
夢と志をもち、実現に向かって
自ら努力し続ける生徒の育成

八代市立第四中学校だより
第９号　令和５年１２月４日
文責　校長　沖田　龍藏

「夢実現」に向かって授業、学校行事を充実させながら成長し続ける四中生！

先月８日（水）は、４年ぶりに文化祭・合唱コンクールを地域から学校評議員の方々を保護者と一緒にご案内し開催しました。各学年ともに日頃の音楽の授業と朝や夕方の練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい合唱と文化祭ステージを披露することができました。学習成果としての展示作品、特に美術部の大型作品「進み続けるらせん階段」、吹奏楽部の演奏「ミックスナッツ」と全校合唱「負けないで」、各学年の合唱コンクール（最優秀賞：３の１「手紙～拝啓十五の君へ～」）とステージ発表には学年の特色が表れていました。３年生の「道徳　劇：下町ロケット四中版」では、自分の夢実現に向けて、最初から無理とあきらめずに努力し続けることの大切さを訴えていたので、多くの生徒が自身の生き方と重ね合わせることができたのではないかと思います。文化祭実行委員会と生徒会執行部が中心となり、まさに四中の「Ｎｅｘｔ　Ｓｔａｇｅ」の扉を開けた文化祭でした。１０日（金）は、県中体連駅伝大会が天草市あましんスタジアムで開催され、昨年の悔しさを晴らし、２年ぶりに出場権を獲得し八代大会を３位で勝ち上がった男子チームが、自分の「持てる力」を出し切って天草路を駆け抜けました。早朝から天草まで選手の応援に駆けつけていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。また、１１日の地域行事である、大やちわ祭りは部活動後援会、四葉会の役員さんでバザーや食品販売での参加と吹奏楽部の演奏等で大変賑わいました。１７日は第２回学校運営協議会が八千把小学校であり、本校教育の成果と課題について学校評価（別紙参照）をもとに、運営協議会委員の皆さんと共に上期を振り返りました。小・中学校であいさつ運動をしたり、落ち着いて授業を受け学校行事に積極的に参加したりしながら、子供の成長ぶりを実感したという意見が多く寄せられました。課題は、２１日に四中校区三点固定部会が「子供の過度のメディア使用が心身の発達に及ぼす影響」をテーマに教育講演を企画し、保護者とともに考えたメディアコントロールです。引き続き家庭と学校が連携し、授業と家庭学習の連動により、基礎学力の定着を図っていきましょう。今日まで県学調・市学調が実施されたところです。先月は教職員も八代教育研究会を代表しての授業公開（２年英語：川口教諭、３年社会：松村教諭）や全職員で校内研修における研究授業を通して授業改善を行い、子供が「わかる喜びを実感できる授業」に取り組んでいます。２７日は熊本総合病院薬剤師　藤井先生による「薬害防止教室」で大麻などの薬物が間近に迫ってきている危機感を生徒と共有しました。２９日の授業参観にはたくさんの参加がありましたが、生徒の様子はいかがだったでしょうか。３０日は、地域のボランティア「かわせみ」による、朝自習時間での読み聞かせがありました。しっかりと聴く態度が身に付いている四中生の姿がありました。明日から２年生は、修学旅行（広島・京都・大阪）に行き、世界文化遺産、平和学習、公衆道徳や社会性、友情、働くことの意義や感謝を学んで帰り、学校生活に活かしてくれることを期待しています。今月１４日は校内駅伝・持久走大会も県南グラウンドで予定しています。「鍛えてこそ、辛苦を乗り越えられるもの」です。保護者の声援をよろしくお願いします。　**「八代市立第四中学校 HP」で検索を！**